

柏市地域包括支援センター運営事業評価のまとめ

地域包括支援センター名	平成30年度柏市地域包括支援センター運営事業評価の講評	令和元年度柏市地域包括支援センター機能向上に向けた支援
柏北部	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害防止について、オリジナルのキャラクターや歌を作成し、住民が興味を持ちやすいような工夫を行い、啓発をすすめた。 ・事例検討会において、ケアマネジャーのほか、医療・福祉関係者以外の多様な立場から参加する場を提供し、ケース検討に留まらず、地域の連携を深める機会とした。 ・定期に発行する広報紙に地域の居宅介護支援事業所を職員の写真付きで紹介する等、ケアマネジャーとの連携体制や市民が利用しやすい環境づくりを推進した。 ・センター内でプランチェックを毎週行うなかで、職員自身が作成するプランの質を高めるとともに、地域のケアマネジャーに対して的確に助言できるよう取り組んだ。 ・オレンジ散歩など、オレンジフレンズを活用し、認知症本人が定期的に参加できる機会を設けるなど、センター独自の取り組みを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有効な地域データの分析による効果的な取り組みがなされるよう支援する。 ・担当圏域内の分割増設を控えていることから、スムーズな引継ぎに向け準備できるよう支援する。
北柏	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のサロンへの訪問や講座を実施し活動支援を行うとともに関係構築を図った。また、サロンの状況や特徴を把握し、フレイル予防の必要な市民をつなげるなど積極的な取り組みが見られた。 ・消費生活センターや警察と連携した講座の開催や同行訪問等を通じて、消費者被害防止に向けた啓発を積極的に行った。 ・ロコトレについて、医療機関のデジタルサイネージ機能を活用したセンター独自の取り組みを通じて、市域全体に広く啓発を行った。また、習得を目的とした独自講座を開催し、フレイル予防を推進した。 ・地域資源の情報を把握し、市民や関係者にわかりやすく整理し積極的に活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は定着しており、関係者とのネットワークの構築は図られていることから、各事業への協力が得られる仕組みになるよう支援していく。 ・今後は、地域分析等を通して地域課題を洗い出し関係者の協力のもと、効果的な取り組みがなされるよう支援する。
北柏第2	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅支援事業所への訪問活動を実施し、ケアマネジャーとの関係構築を図るとともに、情報共有やニーズを把握して地区別研修等の取り組みに反映した。 ・成年後見制度について積極的に講座を開催し、普及啓発に努めた。 ・商業施設に設置されている利点を活かし、支えあい推進員や民間事業所と連携しフレイル予防を取り入れたセンター独自の取り組みを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの職員は定着が図れている。個々の職員のスキルが均一化するよう支援する。 ・総合相談の状況分析に基づく効果的な取り組みがなされるよう支援する。 ・商業施設の利点を活かしながら、地域の関係者・機関との連携強化できるよう支援していく。
柏西口	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員等の地域からの情報や総合相談からハイリスク者を抽出・リスト化し、定期訪問を行い、要支援者の早期発見、早期対応につなげた。 ・地域特性を踏まえ、高齢者の安否確認フローを作成し、適切な対応に向けた体制を整えている。また、当該包括の対応から消防局との連携による救急搬送履歴確認の仕組み整備につなげた。 ・定期巡回訪問時の案内やチラシのポスティング等により包括や各事業の周知を強化し、通いの場やフレイル予防教室の新規参加につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域分析等により地域課題を抽出し地域への働きかけができるよう支援する。 ・地域の特性として安否確認が生じる事案が多く発生するため、適切な対応ができるよう支援する。
柏西口第2	<ul style="list-style-type: none"> ・センターへの相談全件に対して、システムを活用し機能的に進捗管理を行った。 ・障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行について課題提起を行い、市関係部署との会議で現状や課題を報告する等、円滑な移行に向けた仕組みづくりに参画した。 ・事例検討会では、仕様以上の回数の実施ができており、地域のケアマネジャーとの協働が行えているほか、訪問看護ステーションや薬剤師、ホームヘルパー等他職種との情報共有の場を提供した。また、県主催のケアマネジャー研修プログラムに沿った構成とされていることから、実際の研修に備えることができおり、ケアマネジャーのスキルアップに寄与している。 ・ウォーキングやロコモフィット等、受講者の自主化を視野に入れた講座を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域分析に基づく地域課題を抽出し、効果的な取り組みがなされるよう支援する。 ・商業施設に設置している強みを活かした、多世代へのアプローチにつながる活動を支援する。 ・インフォーマルサービス等の利用促進に向けた、地域向け、ケアマネジャー向けの活動をサポートし、商業施設以外での地域展開を支援する。

柏市地域包括支援センター運営事業評価のまとめ

地域包括支援センター名	平成30年度柏市地域包括支援センター運営事業評価の講評	令和元年度柏市地域包括支援センター機能向上に向けた支援
柏東口	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員の欠員が半期以上あった。 ・地域資源マップに地域高齢者の特性データを掲載し地域特性を活かして取り組んだ。 ・権利擁護(消費者被害や成年後見等)に特化した啓発チラシ(東口ニュース)を作成し、定期的に発行する等、市民への注意を促す工夫を行った。 ・地域ケア会議と支えあい会議を合同で開催することで会議を効率的に進め、社会資源の創出を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、職員の定数は満たされている。総合相談状況の分析等により、効果的な取り組みがなされるよう支援する。 ・各事業の進捗管理をセンター長とともに随時行い、委託業務の計画的な遂行を支援する。
柏東口第2	<ul style="list-style-type: none"> ・担当地域の地域特性データを活かした資料を作成し、地域ネットワーク会議や地域ケア推進圏域会議に活用して取り組んだ。 ・居宅支援事業所を訪問し、ケアマネジャーとの関係構築や情報共有を行うとともに、ケアプランチェックや同行訪問等に注力して取り組んだ。 ・多職種との連携により、地域ケア会議において、自立支援・重度化防止に向けた観点から、個別事例の検討がなされた。 ・消費生活コーディネーターと協働で消費者被害防止の啓発に積極的に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性から把握した地域課題である栄養に関する情報を取り入れた地域資源を整理し、関係者や市民と共有し必要な社会資源の提案ができるよう支援する。 ・ケアマネジャー等との連携に向け、積極的な取り組みが継続できるよう支援する。
光ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の異動が生じたり、半期以上職員の定数が満たされなかった。 ・医療や介護分野に加え、障害分野の関係機関とのネットワークを構築し、理解促進に向けたイベントの企画立案にも参画するなど積極的な取り組みがみられた。 ・地域いきいきセンターや柏市社会福祉協議会との連携により、相談者への効果的な支援がなされた。 ・認知症カフェを仕様書の回数以上実施するとともに、認知症初期集中支援チームとの連携に努め、効果的な支援がなされた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談状況の分析等を通じて、効果的な取り組みがなされるよう支援する。 ・職員の補充について、引き続き受託法人に対し、働きかけを行う。
柏南部	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の異動が生じたり、半期以上職員の定数が満たされなかった。 ・地域特性である高齢者の移動支援に関する課題意識を持ち、地域ケア会議を開催した。開催に当たっては、地域関係者や福祉及び交通に関する関係者と課題を共有し継続的に協議できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、職員の定数は満たされている。経験年数の少ない職員多いため、地域の特性や課題を理解し、地域関係団体や関係者との連携を図り、委託事業の安定的な事業運営が図れるように支援する。 ・総合相談の分析等を通じて、効果的な取り組みがなされるよう支援する。
柏南部第2	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーに対し、自立支援・重度化防止に向けた勉強会を提案し、実施に向けた調整を図ることができた。 ・ケアマネジャーのニーズに対応し、積極的に地域支えあい推進員との交流会を実施した。 ・認知症地域支援推進員が中心となり、認知症初期集中支援チームやオレンジフレンズとの連携を図り、認知症事業を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、地域関係者との連携が図れるよう支援する。 ・ケアマネジャーや地域支えあい推進員との連携が図れていることから、今後は、地域の特性を活かした取り組みがなされるよう支援する。
沼南	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに開設した司法書士事務所と早期に連携を図り、権利擁護講座を中心に協力体制を構築した。 ・地域の実状を踏まえたテーマで地区別研修を開催し、地域のケアマネジャーに向けて総合事業の理解と訪問型サービスAの普及を推進した。 ・地域支えあい推進員や社会福祉協議会との連携により、支えあい活動における地域の機運を高め、手賀地域でのたすけあいサービス創出につなげた。 ・認知症サポーター養成講座を受講した高校生らが作成したパネルを使って小中学生に向けて説明を行う場を作る等、福祉教育を推進するとともに、認知症の啓発を積極的に行ったほか、地域の認知症カフェに対して自立運営を視野に入れた支援を行い、31年度からの自主運営につなげた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談状況の分析等を通して、効果的な取り組みがなされるよう支援する。 ・ケアマネジメントの実践力向上に向けた活動の支援を行う。 ・圏域内のランチ増設に向けて、必要な事務等協働していく。